

## ヴォリュームアキュライザーの導入(9)

—Rogers Cadet IIIへの適用—

### 1. 始めに

今回は、サブシステムの Rogers CadetIIIプリメインアンプに適用してみます。

### 2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴方法

今回は、下記システムを使用して、アナログ音源でVRA-7の効果を確認します。

本システム関連の最近の情報は、[サブシステムの再構成\(5\)](#) や [ZANDEN Model 120の導入\(14\)](#)で報告しています。

アナログ再生系は LINN LP-12 のシステムで前報(2)のとおり TruPhase に入力し、その出力を Ex Pro SV-1 経由で Rogers CadetIIIに入力し、EMI のスタジオモニターDLS 529(通称アビーロードスタジオモニタースピーカー)を駆動します。

Rogers CadetIIIのヴォリュームに VRA-7 を貼りつけて効果を確認します。



音源は、下記のアナログ盤の再生です。

LONDON SLC 1138

ファリャ 三角帽子

アンセルメ指揮スイスロマンド

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲  
トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート  
harmonia mundi (Deutsche) KUX-3248-H  
ミトマニア  
ベーレン・ゲスリン  
キングレコード SKA-104  
愛と自然の歌  
倍賞千恵子

### 3. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴結果

音量調整は、Ex Pro SV-1のヴォリュームを全開にし、TruPhaseとRogers Cadet IIIのヴォリュームで調節します。

ZANDEN Model 120の設定は、これまでの経験を元に選択しています。

この組み合わせは、アンプやスピーカーが時代ものの割にはバランスが取れていて抜けが良く、解像度も確保されています。

Rogers Cadet IIIのヴォリュームにVRA-7を貼りますと、激変というほどではありませんが、相当大きく変わります。

三角帽子は、ベルガンサの声に張りが出て、全体の空間表現がリアルになります。

チェンバロ協奏曲は、少しばかり残っていた粗さが取れ、バロックアンサンブルらしい精緻な音になります。

ミトマニアは、男女のボーカルの張りが出て、バックの古楽アンサンブルの空間表現が向上し、朗々と鳴るようになります。

倍賞千恵子は、声の張りが出てバックの伴奏の粗さがとれ、間接音も豊かになり全体的に音が緻密になります。

### 4. まとめ

EMIのスタジオモニターDLS 529を駆動するRogers Cadet IIIのヴォリュームにVRA-7を貼りますと、相当に大きな効果があります。

以上